Vol.11

綾ユネスコエコパークまちづくりネットワーク協議会紹介

綾町猟友会

（小西俊一会長　37人）

町内で野生鳥獣の狩猟と駆除を行っている団体です。活動の場は奥山に限らず人里にも及び、最近は民家周辺の田畑を荒らす有害鳥獣の駆除を担うことが増えてきました。イノシシやシカ、サルなどによる農作物の被害は年々増加傾向にあるため、年間を通して活動をしています。

有害鳥獣による被害増加の原因としてはさまざまなことが考えられますが、町の皆さんが安心して暮らせる生活環境を守るためには、捕獲せざるを得ないことも少なくありません。動物の命と引き換えに私たちの生活や社会が保たれていることに感謝の気持ちを忘れずに、命を無駄にしないことが大切だと考えます。

駆除は、有害鳥獣被害の根本解決にはなりません。例えば、野菜クズなどが放置された田畑や遊休農地は、野生動物のえさ場としても隠れ家としてもちょうどよい環境となってしまいます。野生動物による思いがけないトラブルを防ぐためには、このような環境を作り出さないことも大切になってきます。これは、個人で取り組むよりも地域全体で取り組む方が効果を期待できます。こうした、野生動物とのかかわり方や経験に基づく知識を地域の皆さんに伝えていくことも、私たちの大切な役割だと思っています。

猟友会は全国的に猟師の減少が課題となっています。狩猟の魅力や駆除の意義を広く知ってもらい、共に活動する仲間をたくさん増やしたいという思いもあり、町内でのさまざまなイベントでジビエ料理をふるまったり、猟師の役割について大学で講話したりする機会も持つようにしています。

社会的役割が大きい「狩猟」に、責任感とやりがいを感じながら、これからも積極的に活動していきたいと思っています。

綾ユネスコエコパーク推進室・綾ユネスコエコパークセンター
☎77-3482　URL https://ayabrcenter.jp

※エコパークセンターは毎週日・月曜日および祝日休館
休館などの情報はホームページで随時更新します

Column

アカタテハ

枯れ葉のような下地に鮮やかなオレンジ色の帯模様が映える翅（はね）を持ったタテハチョウの仲間です。

幼虫はヤブマオなどイラクサ科の植物を食べて育ちます。幼虫にはトゲが多く毛虫のようで毒々しいですが、毒はありません。成虫は素早く不規則に飛び回るため、写真に収めることが難しいのですが、春から秋にかけてアザミなどの花や樹液にとまる様子が観察できますので、その時がシャッターチャンスです。

暖かくなる春はこうしたきれいなチョウが飛び回り始める季節です。野外で散歩をするときにぜひ探してみてください。